

仕事に関すること

Q1 社会福祉士や介護福祉士を目指していますが、入職してからどのようなキャリアアップがあるのか、また、資格を活かした配属先の考慮などはあるのか、教えてください。

多くの職員が社会福祉士や精神保健福祉士、介護福祉士の資格を取得しています。配属先については、有資格者であるかどうかも考慮したうえで決定しますが、どの現場でも多くの有資格者が活躍しています。

相談支援業務は支援を必要としている本人や家族の相談に応じ、自立に向けてサポートする重要な役割を担っている職種であり、様々なニーズに対応するための知識や実践力が求められます。

社会福祉士の資格を活かし、相談支援業務を希望する場合、障がい児、者の支援をお行う相談支援専門員は5根に状の実務経験が必要です。今までのキャリア例では、5年程度入所施設や通所施設で現場経験を積んだあと、相談支援を担う職員が多いです。

直接支援の現場でも、利用者、家族の支援や相談、関係機関との連携業務があり、有資格者には、資格を活かして専門的な関わりをしています。

異動に関すること

Q2 異動はどのくらいのペースでありますか？

定期人事異動は4月1日に行われ、異動のサイクルは概ね3～5年ですが、施設や本人の事情により、これによらない場合があります。

職員は、毎年、「身上調書」に、家庭の事情、業務の取組状況、将来の希望、異動希望等を記入し、所属長と面談を行います。面談を踏まえて、事業団全体で職員の希望や組織バランスを考慮しながら総合的に判断し、異動を調整し決定します。

Q3 入職年度の配属先について希望を出すことはできますか？

初年度については、採用試験の面接試験時に、働きたい施設や希望の職種について希望を伺う機会があります。配属については、事業団全体で職員の希望や組織バランスを考慮しながら総合的に判断し、異動を調整し決定することになります。

先輩職員への質問

Q4 入職してからやりがいを感じたことはどんなことですか？

・児童の施設では、自分が行った支援や行動に対して、ダイレクトに反応があります。児童の成長に影響があり、成長を感じられるところにやりがいを感じます。

・入職当初に、自分の食事支援を拒否する利用者の方がいました。周りの先輩職員にも助けをもらい、日々の関わりが増えていくなかで、良い関係性ができ、食事支援を受け入れてくれたときは、やりがいを感じました。

Q5 入職してからたいへんさを感じたことはどんなことですか？

・言葉でコミュニケーションをとることが難しい利用児(者)の方もいるので、そのコミュニケーションのとり方に難しさを感じています。ジャスチャーやしぐさなど、職員同士協力して日々の観察をしながら、利用者の気持ちや訴えに気づくこともあります。

今は、利用児(者)との関係性ができてきたことや経験を重ねてきたことで、少しずつ気づけるようになってきたのではないかと思います。